

宇都宮市立横川西小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で、学校の宿題をしていますか」に対する肯定的回答が100%であり、全国の割合より3ポイント高い。また、「家で、学校の授業の復習をしていますか」に対する肯定的回答が73%で、全国の割合より17.8ポイント高い。

●「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に対する肯定的回答が、58.3%であり、全国の割合を3.9ポイント下回った。

家庭学習の習慣はあるが、計画を立てて学習に取り組む児童が少ないことが分かる。今後、自主学習への取組を奨励するとともに、自分で課題を決めて、計画的に学習するように声掛け等を行っていく。

○「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができるか」に対する肯定的回答が、97.9%であり、全国の割合を5ポイント上回った。

●「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」に対する肯定的回答が、42.7%で、全国の割合を9ポイント下回っている。

このことから、聞くことはできるが、自分の考えや意見を発表することに苦手意識のある児童が多いことが分かる。毎日の授業の中で、小グループで自分の意見を伝える場面を意識的に設定することをこれからも継続することにより、苦手意識をなくしていきたい。

●「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。」に対して、2時間以上と回答した児童が34.4%もいる。これは、全国の割合と比較しても4.7ポイントも多い。

今後も、ゲームとの付き合い方についての指導を継続して行っていく必要がある。